

官報

號外

明治二十九年一月十五日

水曜日 內閣官報局

○第九回衆議院議事速記録第七號

明治二十九年一月十四日(火曜日)午後一時十五分開議

議事日程 第七號 明治二十九年一月十四日

午後一時開議

- 第一 國債證券買入銷却法案(政府提出) 第一讀會
- 第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第三 償金特別會計法案(政府提出) 第一讀會
- 第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第五 臨時軍事費特別會計ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
- 第六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第七 鎮守府造船材料資金増加ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
- 第八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第九 官設鐵道用品資金増加法律案(政府提出) 第一讀會
- 第十 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第十一 官設鐵道用品ヲ官設鐵道用品資金ヨリ買入ル、トキ前金拂概算渡ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
- 第十二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第十三 明治二十七年法律第六號鐵道比較線路決定ニ關スル法律中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第十四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第十五 鐵道敷設法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第十六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第十七 航海獎勵法案(政府提出) 第一讀會
- 第十八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第十九 造船獎勵法案(政府提出) 第一讀會
- 第二十 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○議長(楠本正隆君) 諸君、是ヨリ諸般ノ報告ヲ爲シマスル

(佐脇書記官朗讀)

政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

日本勸業銀行法案

農工銀行法案

農工銀行補助法案

議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

近世史料蒐輯ニ關スル建議案

提出者

鈴木重遠君 島田孝文君
小室重弘君

特別委員長及理事左ノ通り當選セラレタリ

登錄稅法案審查特別委員長

同理事

酒造稅法案審查特別委員長

同理事

營業稅法案審查特別委員長

同理事

葉烟草專賣法案審查特別委員長

同理事

特別委員左ノ通り指名セリ

事業公債條例案審查特別委員

藤田達芳君

大野龜三郎君

武者傳二郎君

中島祐次君

名倉

輸入棉花海關稅免除法律案審查特別委員

竹村藤兵衛君

吉田常三郎君

山田忠兵衛君

森田輝見君

松島廉作君

營業滿期國立銀行處分法案審查特別委員

和氣清太郎君

河原林義雄君

和田彦次郎君

前川善之助君

小坂善之助君

大坂善之助君

新井廉君

須藤時一郎君

東尾平太郎君

○議長(楠本正隆君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、議事日程第一國債證券買入銷却法案一讀會ヲ開キマス

第一 國債證券買入銷却法案

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

第一條 國債證券買入銷却法

却ヲ爲スコトヲ得

前項買入ノ價格ハ該證券面金額ニ超過スルコトヲ得ス

第一讀會

第二條 國債證券ノ買入銷却ヲ爲シタルトキハ大藏大臣ハ其ノ證券ノ種類番號總額及其ノ買入價格ヲ告示スヘシ
第三條 銷却ノ爲メニスル國債證券ノ買入ハ隨意契約ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

(政府委員大藏次官法學博士男爵田尻稻次郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(男爵田尻稻次郎君) 議事日程ノ第一ニ上リマシタ國債證券買入銷却法ヲ御紹介致シマス、公債ヲ銷却致シマスルニ御承知ノ通ニ當籤法ト云フモノト、ソレカラ買収法ト云フニツガナケレバナリマセヌガ、所デ其是マデハ實地格別必要ノナイ所ヨリ買収ノ買入レテ償還ヲ致シマス法ト云フモノハ設ケテアリマセズニ、重ニ抽籤デヤルト云フコトニナツテ居マシタデゴザイマス、ケレドモ戰後ハ御承知ノ通ニ國債モ餘程殖エルコトデアリマスシ、且ツ又關係ガ——全體日本ノ關係ガ廣クナリマスカラ……激シクナリマスシ、コトヲ推定致サナクシテバナリマセヌ、左様致シマス法……激シクナリマスシ、鐵デスルヨリカ、買入レタ方ガ豫算デ承認ヲ得マシタ金額デ以テ多額ノ公債ガ償還セラル、ト云フコトニ至リマセウカラ、彼是便宜デアリマスカラ、是マデ缺ケテ居マスル缺ヲ此法案デ補フ積デアリマスカラ、又詳細ノ事ハ種々御質問等ニ應ジテ申上グマスガ、先ヅ大體ノ所ハサウ云フ仕組デアリマスカラ、ドウゾ十分ニ調査ヲ下サツテ本案ノ通過スルコトヲ望ミマス、ソレカラ起立ノ序デアリマスガ、其他澤山ノ法案ガ今日出テ居リマスカラ、總テ孰モ此財政ノ整理、戰後ノ經營ニ必要ナル法案デアリマスカラ、是等モドウゾ皆充分ノ御調査ヲ得マシテ速ニ決定アラシコトヲ希望致シマス

○議長(楠本正隆君) 該案ニ別段御質疑ガナクバ……

○眞下珂十郎君(二百四十一番) 少シ質問シタイコトガアリマス、此國債券買入銷却法デゴザリマスガ、元來今日此五分ノ利ト云フモノハ高利ノ分ニ屬シマスヤウニ考ヘルノデゴザリマスガ、此公債價格ト云フモノハ之ヲ其買上ゲルト云フ場合デゴザリマスガ、詰リ此九十三圓トカ、九十五圓トカニナルト云フコトハ最モ出來ナイト考ヘル、シテ見マスルト云フト、詰リ買上ゲルト云フコトハナクシテ矢張ハ抽籤ヲ以テ一天張リ其額ニ充ツルダケノ銷却ヲ爲スト云フ政府ノ考デゴザリマスガ、是ガ一ツ、此軍事公債、整理公債ト云フ如キモノガアル、此軍事公債整理公債ト云フモノハ五箇年据置キ、五十箇年ノ銷却ト云フコトニナツテ居ルノデゴザリマスガ、此海軍公債ト云フモノハ五箇年据置キ、三十箇年ノ銷却ト云フコトニナツテ居ル、年度ガ長ウゴザリマスレバ從ツテ直段ガ高イト云フ有様ガ今日ハ見エル、海軍公債ハ安クシテ軍事公債、整理公債ト云フモノハ高價ニ相成ツテ居ルト云フ様ガアル、サウ云フ事柄ガ詰リ人民間ニ於テ其約束ヲ以テ買入價格ハ極ツテ居ルト云フヤウナコトモアラウカニ思フガ、少モ差支ナク、是デ往ケルト云フ御見込デゴザイマス

○議長(楠本正隆君) 田尻稻次郎君

(政府委員大藏次官法學博士男爵田尻稻次郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(男爵田尻稻次郎君) 少シ御質問ガ十分分リ兼マシタガ、先ヅ私ノ了解シタ所デ御答ヲ致シマシテ、ソレデ又不足ガアリ、或ハ間違ッテ居マシタナラバ、モウ一應御質問ヲ受ケマシテ御答ヲスルコトニ致シマス、成ル程今ノ整理公債或ハ軍事公債ト云フモノハ、海軍公債ヨリ少シ高ウゴザリマスガ、是ハドウモ其公債ノ小サイ額ハ市場ニ賣買ニハ餘リ出マセヌ、ソレデ價ノ立ツ土臺ニナリマス、則チ立價ニナリマスノハ多ク巨額ノモノヲ以テヤリ

マスカラ、自然サウ云フヤウナ差ガ出テ參リマス、ソレカラ唯今ノ所デハ御承知ノ通五分デアリマシテ、容易ニ是ハ下ガルコトハアリマセヌ、併ナガラ是カラ餘程此公債モ募ッテ參ラナクンバナリマセヌシ、是カラ新シク出來マサル法律ハ御承知ノ通五分以下デ募ルト云フコトニ致シテアリマシテ、極市場ノ景況ガ宜クアリマシレバ、或ハ五分以下四分トカ四分半トカデ募ルトガ出來ヤウト思ヒマス、サウ致シマスルト此戰後ノ膨脹シタル日本デアリマスカラ、又是ガ安クナルコト云フヤウナコトガ此前ヨリ——戰爭前ヨリカ餘程其市場ニ狂ヒシ出ルコトガ多カラウ、其時ニハドウシテモ此買収ノ方デ往方ガ都合ガ宜シウ出ルコトガ多カラウ、第一條第二項ニモ書イテアルガ、額面ヲ超過スルト云フトキハ此法律ハ逆モ働ク出ル出來ナイ、其時ハ御説ノ通抽籤スルヨリ致方ガナイ(眞下珂十郎君抽籤スルノデアリマスナ)ト呼フ左様抽籤モ用ヒマス、之ヲ用ヒマス時ハ價格ノ下ガリマシタ都合ノ好イ時ニ致ス、斯ウ云フ譯デアリマス

○議長(楠本正隆君) 次ハ第二、委員ノ選舉ノ件ニ移リマス

○吉本榮吉君(八十一番) 委員ノ選舉ハ議長ノ指名ニ任セマス

○議長(楠本正隆君) 吉本君ノ動議議長指名ト云フコトニ……

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 然ラバ其事ニ決定致シマス、次ハ第三價金特別會計法案ノ第一讀會ヲ開キマス、本日モ議案ガ多數ニ涉リマスニ依ツテ皆朗讀ヲ省キマス

第三 價金特別會計法案(政府提出)

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

第一讀會

價金特別會計法

第一條 價金及其ノ利子ハ一般ノ歲入歲出ト區分シ特別ノ會計ヲ設置ス
第二條 價金ハ金銀地金及有價證券ヲ以テ之ヲ保有スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ日本銀行ヲシテ其ノ交換ヲ取扱ハシム
第三條 國庫内現金融通ノ爲メ國庫ヨリハ價金ノ金地金ヲ以テ日本銀行ヨリハ之ニ相當スル兌換銀行券ヲ以テ相互間ニ貸借勘定ヲ組成スルコトヲ得此ノ場合ニ於ケル利子ノ割合ハ大藏大臣ノヲ定ム
第四條 政府ハ毎年價金特別會計ノ歲入歲出豫算ヲ調製シ歲入歲出ノ總豫算ト共ニ帝國議會ニ提出スヘシ

○中村克昌君(百七十一番) 此價金特別會計法ニ就イテ關係ヲ致シテ居リマスカラ、政府委員ニ一ツ質疑ヲ要シマス、既ニ此領收濟ニナツテ居ル價金デアリマス、則チ馬關條約ノ結果ニ依リマシテ第一ニ拂込ニナツタ價金及此項遼東還付ニ就イテ取リマシタ所ノ價金、此二ツノ金ハ爾來如何ナル方法ニナツテ保管シテ居ルコトニナツテ居リマスカ、此事ニ就イテ一應承リタイト思フ

(政府委員大藏省主計局長松尾臣善君演壇ニ登ル)
○政府委員(松尾臣善君) 價金ノ是マデ請取リマシタ金高ヲ如何ナル方法デ保管シテ居ルカト云フ御尋ネ、是ハ英吉利ニ於キマシテハ英蘭銀行ニ當座預ケニ致シテ居リマス

○議長(楠本正隆君) 次ハ第四、委員ノ選舉ニ移リマス

第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○吉本榮吉君(八十二番) 是モ前同議議長指名

○議長(楠本正隆君) 該案ヲ前委員ニ附託スベシト云フ吉本榮吉君ノ動議

○議長(楠本正隆君) 御異議ナシト呼フ者アリ

第五 臨時軍事費特別會計ニ關スル法律 第一讀會

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

第一條 臨時軍事費特別會計ハ明治二十九年三月三十一日ヲ以テ終結ス

第二條 臨時軍事費特別會計年度所屬ノ歳入歳出ノ出納ニ關スル事務ハ明治三十一年三月三十一日マデニ悉皆完結スヘシ

第三條 臨時軍事費ノ支辨ニ屬スル工事製造等ノ事業ニシテ明治二十九年三月三十一日マデニ經費ノ支出ヲ終ラサルモノハ其ノ支出未済ノ豫算額ヲ一般會計ニ移シ、逕次繰越シ使用スルコトヲ得

第四條 臨時軍事費ノ支辨ニ屬スル諸費ニシテ既ニ契約ヲ爲シ若クハ支出スヘキ債務確定シ明治二十九年三月三十一日マデニ經費ノ支出ヲ終ラサルモノハ其ノ支出未済ノ豫算額ヲ一般會計ニ移シ、逕次繰越シ使用スルコトヲ得

第五條 臨時軍事費特別會計ニ於テ歲計ニ剩餘アルトキハ一般會計ノ歳入ニ繰入ルヘシ

○議長(楠本正隆君) 該案ハ別ニ政府委員ニ向ッテ御好ガナカラヌケレバ説明ヲ致シマセヌ、次ハ第六、委員選舉ニ移リマス

第六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○吉本榮吉君(八十二番) 是モ前同委員ニ付託スルコトニ致シタイ

○議長(楠本正隆君) 該案モ前委員ニ付託スヘシト云フ吉本君ノ動議デゴザリマス

○議長(楠本正隆君) 是モ御異議ナシト認メマス

第七 鎮守府造船材料資金増加ニ關スル法律案 第一讀會

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

明治二十九年度ヨリ漸次ニ金百四十五萬五千五百二十四圓二十八錢四厘ヲ鎮守府造船材料資金ニ増加ス

○政府委員(男爵伊藤篤吉君) 本年提出致シマシタル鎮守府造船材料資金ノ法律案ニ就キマシテ説明ヲ致シマス、此ハ理由書ニテ書イテゴザイマス通ニ略シ御分リデアリマセト思ヒマスケレドモ、尙ホ一應説明ヲ致シテ置キマス、此造船材料資金ト申シマスモノハ年々ノ豫算ニモ出テ居リマスモノデアリマシテ、其性質ハ疾クニ御存ジト存ジマス、全ク此必要ト申シマスモノ

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

明治二十九年度ヨリ漸次ニ金百四十五萬五千五百二十四圓二十八錢四厘ヲ鎮守府造船材料資金ニ増加ス

○政府委員(男爵伊藤篤吉君) 本年提出致シマシタル鎮守府造船材料資金ノ法律案ニ就キマシテ説明ヲ致シマス、此ハ理由書ニテ書イテゴザイマス通ニ略シ御分リデアリマセト思ヒマスケレドモ、尙ホ一應説明ヲ致シテ置キマス、此造船材料資金ト申シマスモノハ年々ノ豫算ニモ出テ居リマスモノデアリマシテ、其性質ハ疾クニ御存ジト存ジマス、全ク此必要ト申シマスモノ

○議長(楠本正隆君) 然ラバ一括シテ議題ニ供シマス、遞信大臣白根君

第九 官設鐵道用品資金増加法律案(政府提出) 第一讀會

第十 官設鐵道用品資金増加法律案(政府提出) 第一讀會

第十一 官設鐵道用品資金増加法律案(政府提出) 第一讀會

○議長(楠本正隆君) 然ラバ一括シテ議題ニ供シマス、遞信大臣白根君

○議長(楠本正隆君) 然ラバ一括シテ議題ニ供シマス、遞信大臣白根君

○議長(楠本正隆君) 然ラバ一括シテ議題ニ供シマス、遞信大臣白根君

○議長(楠本正隆君) 然ラバ一括シテ議題ニ供シマス、遞信大臣白根君

○議長(楠本正隆君) 然ラバ一括シテ議題ニ供シマス、遞信大臣白根君

尙水段々取調ベマシタ結果ニ依ツテ考慮致シマスルト、既成官線ト接シマシ
タ方ガ、先キニ遞信大臣ヨリ述ベラレマシタ通、營業ノ管理上ニ於キマシ
モ、又建設ノ工事上ニ於キマシテモ、大ニ便利ヲ加ヘルコトデアリマス
ラ、此變更ヲ致シタガ宜カラウト云フ考ヘデアアルノデゴザイマス
○議長(楠本正隆君) 次ハ第十六右議案ニ關スル委員ノ選舉

第十六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
○吉本榮吉君(八十二番) 是ハ前日程ノ委員ト同一ノ委員ニ付託ヲ致シタイ
ト考ヘマス
(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

議長(楠本正隆君) 該案ハ前十八名ノ委員ニ付託スベシト申ス吉本君ノ動
議……
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

議長(楠本正隆君) 御異議ガゴザイマセヌカラ、其通決シマス
○恒松隆慶君(五十番) 次ノ十七ト十九デゴザイマスガ、是ハ同一ノ委員ニ
付託シタガ宜カラウト考ヘテ居リマス、故ニ是ハ合テ議題ニ上ボセラレンコ
トヲ希望致シマス

議長(楠本正隆君) 第十七航海獎勵法案、第十九造船獎勵法案、右議案ヲ
合セテ御異議ナクハ議題ト致シマス
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

第十七 航海獎勵法案(政府提出)
第十九 造船獎勵法案(政府提出)

第一讀會
第一讀會
(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

第一條 帝國臣民又ハ帝國臣民ノミヲ社員若クハ株主トスル商事會社ニシ
テ自己ノ所有ニ專屬シ帝國船舶ニ登録シタル船舶ヲ以テ帝國ト外國トノ
間又ハ外國諸港ノ間ニ於テ貨物旅客ノ運搬ヲ營業トスル者ニハ此ノ法律
ノ規程ニ依リ其ノ船舶ニ對シ航海獎勵金ヲ下付ス

第二條 此ノ法律ニ依リ航海獎勵金ヲ受クヘキ船舶ハ總噸數一千噸以上ニ
シテ一時ノ時間十海里以上ノ最速速力ヲ有シ遞信大臣ノ定ムル造船規程ニ合
格シタル鐵製又ハ鋼製汽船ニ限ル

第三條 左ノ船舶ハ航海獎勵金ヲ受クルコトヲ得ス
第一 此ノ法律施行以後帝國船舶ニ登録ノ際製造後五箇年ヲ經過シタ
ル外國製造ノ船舶

第二 製造後十五箇年ヲ經過シタル船舶
第三 帝國政府ノ命令ニ依レル航路ニ使用スル船舶

第四條 航海獎勵金ハ總噸數一千噸ニシテ一時ノ時間十海里ノ最速速力ヲ有ス
ル船舶ニ對シ總噸數一噸航海里數一千海里ニ付二十五錢ヲ支給シ總噸
數五百噸ヲ増ス毎其ノ百分ノ十最速速力一時ノ時間一海里ヲ増ス毎其ノ
百分ノ二十ヲ増ス但總噸數六千五百噸以上又ハ最速速力一時ノ時間十八海
里以上ノ船舶ニ對シテハ總噸數六千噸又ハ最速速力一時ノ時間十七海里ノ船
舶ニ對スル割合ニ依リ支給ス

航海獎勵金ハ製造後五箇年ヲ經過セサル船舶ニ對シテハ全額ヲ支給シ五
箇年ヲ經過シタル船舶ニ對シテハ一年毎ニ其ノ百分ノ五ヲ遞減ス

航海獎勵金ヲ算定スルニハ一噸未滿一海里未滿一端數ヲ算入セス
第五條 航海里數ハ各港間ノ最近航路ニ依リ之ヲ算定ス
帝國各港ヘ寄港シ外國ヘ發航スル船舶ニ在テハ最終ノ寄港地ヲ起點トシ
又外國ヨリ發航シ帝國各港ニ寄港スル船舶ニ在テハ最初ノ寄港地ヲ終點
トシテ其ノ航海里數ヲ算定ス

第六條 遞信大臣ハ命令ヲ發シ相當ノ金額ヲ給與シテ航海獎勵金ヲ受クル
船舶ヲ公用ノ爲メニ使用スルコトヲ得
船舶所有者前項ノ給與金額ニ對シ不服アルトキハ其ノ通知ヲ受ケタル日
ヨリ三箇月以内ニ裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ出訴ハ使用ヲ停止セス
第七條 航海獎勵金ヲ受クル船舶ノ所有者ハ遞信大臣ノ命令ニ依リ左ノ割
合以内ニ於テ其ノ費用ヲ以テ航海修業生ヲ該船舶ニ乘組マシメ同大臣ノ
定ムル手當ヲ支給スヘシ

總噸數一千噸以上二千五百噸未滿 二人
總噸數二千五百噸以上四千噸未滿 三人
總噸數四千噸以上 四人

第八條 航海獎勵金ヲ受クル船舶ノ所有者ハ遞信大臣ノ許可ヲ受クルニア
ラサレハ外國人ヲ其ノ本支店ノ事務員若クハ該船舶ノ職員ト爲スコトヲ
得ス

第九條 航海獎勵金ヲ受クル船舶ノ所有者ハ遞信大臣ノ命令ニ從ヒ該船舶
ニ郵便吏員ヲ無賃乗船セシメ及該船舶ヲ以テ郵便物、小包郵便物、郵便用
品及小包郵便用品ヲ無料ニテ運送スヘシ

第十條 航海獎勵金ヲ受クル船舶ノ所有者及其ノ承繼人ハ航海獎勵金ヲ受
ケ航海スル期間並ニ其ノ航海ヲ終リタル日ヨリ五箇年間其ノ船舶ヲ外國
人ニ賣渡、貸渡、交換、贈與、質入、書入スルコトヲ得ス但既ニ其ノ船舶ノ受
ケタル航海獎勵金ヲ償還シ若クハ遞信大臣ノ許可ヲ得タルトキハ此ノ限
ニアラス

第十一條 遞信大臣ハ此ノ法律ニ依リ船舶所有者ノ義務ニ屬スル事項ニ付
テハ直ニ其ノ代人若クハ船長ニ命令ヲ下スコトヲ得

第十二條 詐僞ノ所爲ヲ以テ航海獎勵金ヲ受ケタル者及第十條ノ規程ニ違
背シタル者ハ一年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ二百圓以上千圓以下ノ罰
金ヲ附加ス

前項ノ罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ刑法未遂犯罪ノ例ニ依リ處斷
ス

第十三條 此ノ法律ニ依リ遞信大臣ノ發スル命令又ハ第八條ノ規程ニ違背
シタル者ハ二十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十四條 此ノ法律ヲ犯シタル者ハ刑法數罪併發ノ例ヲ用井ス
第十五條 詐僞ノ所爲ヲ以テ航海獎勵金ヲ受ケタル者ハ其ノ因テ得タル金
額ヲ償還セシメ第十條ノ規程ニ違背シタル者ハ其ノ既ニ受ケタル航海獎
勵金ヲ償還セシム

第十六條 船舶所有者若クハ法律ヲ犯シタルトキハ遞信大臣ハ航海獎勵金ノ
下付ヲ停止スルコトヲ得第十一條ノ場合ニ於テ其ノ代人又ハ船長ノ犯シ
タル罪亦同シ

第十七條 前數條ノ罰則ハ商事會社ニ在テハ其ノ各條ニ掲グル所爲ヲ爲シ
タル業務擔當ノ任アル社員若クハ取締役ニ之ヲ適用ス

モガ、此特別助成法ヲ施行致シマシテ海外ニ航路ヲ定ムル積リデアリマス其大要ノ所ニ於キマシテハ濠州、孟買、浦潮斯德、ぐるさこッム、此四箇所ニ指定ヲ定ムル積デアリマス、是ニ向ツテ特別獎勵ヲ行フコトデアリマス、サウ致シマシテ一般ノ獎勵法ト特別獎勵法トヲ併セ行ヒマシテ、愈々益々帝國ノ航業權ヲシテ海外ニ伸張シ、以テ國家全般ノ此經濟ノ發動ヲ助ケタルコト云フ所ノ目的デアリマス、諸君、願クハ此法案ヲ速ニ議スニナリカラシ合併ニナリセンコトヲ國家ノタメニ希望致シマスデゴザリマス、ソレカラ此合併ニナリメンタ造船法案ノコトデアリマス、既ニ第八議會ニ於テ諸君ヨリ建議ニナリマ離ルベカラザルコトデアリマス、是ハ此航海ノ獎勵法案ト相關聯シテシタ中ニモ即チ一般ノ獎勵、特別ノ獎勵、又此造船ノ獎勵ノ事ニ就イテ其事ヲ載セデアリマス通デゴザリマシテ、是ハ航海ノ獎勵ヲ致スニ就キマシテハ、ドウ致シマシテモ、此造船ニ於テモ獎勵ヲ爲サンニヤナラスト云フコトガ必要デアリマス、先刻述べマシタ通、帝國ノ船舶ハ成程二十七年末ノ統計ニ依リマスルト千四百六十五艘、又二十一萬四千八百二十六噸ト云フ大千數ニナツテ居リマス、一應之ヲ見マスルト頗ル多ク船舶ガアルト云フト云フコトニ就イテハ、甚ダ見ルベキモノガアリマス、之ヲ分析シマシテ此船ハ何レノ國デ造ツタカ、或ハ又內國デ製造シタカト云フコトヲ鑑別致シマス、其大部分ト云フモノハ外國ヨリ購入シタモノデアリマス、即チ外國ノ製造ニ係ツタモノデアリマシテ、內國ノ製造ハ極メテ少ウゴザイマス、今最近五箇年ニ登錄シマシタ船舶ノ數ニ依ツテ見マスルニ、內國ノ製造ニ係ツタモノガ百十五艘アリマス、此噸數ガ二萬七千九百七十三噸、又一艘ノ平均噸數ヲ見マスルニ、僅ニ二百四十三噸ホカニナリマセヌ、外國ノ製造ニ係ツタモノハ七十一艘デゴザリマス、其噸數ハ十三萬九千三百十噸デゴザリマス、是一艘ノ平均ヲ見マスルト千九百八十二噸、殆ド二千噸ノ平均ニナリマス、ハ一艘ノ平均ヲ見マスルト千九百八十二噸、殆ド二千噸ノ平均ニナリマス、外、サスレバ內國デ製造シマスモノハ誠ニ小船ト云フコトハ分リマス、外國デ製造スルモノハ大船デアアルト云フコトハ明々瞭々デアリマス、且ツ又實例ヲ以テ見マシテモガ、一千噸未滿ノ船ハ內國デモ多ク製造ヲ致シマス、ハゴザイマセヌ、斯ウ云フ造船ノ有様デゴザリカハ內國ノ製造ニ係ツタモノマズルト共ニ造船ノ獎勵ヲ行ヒマシテ、サウシテ相俟ツテ宜シク海運ノ事業ヲ發達スルト云フコトノ必要ガゴザイマス、若シ獎勵法ノミヲ行ヒ、造船法ヲ行ハザルニ於テハ甚ダ歎ハシキ狀況ヲ呈スルコトハ必然デゴザリマシテ、船ヲ買ヘバ悉ク外國ニ之ヲ仰グト云フコトガ到來致シテ來マス、故ニ造船ノ獎勵モ致シ、航海ノ獎勵モ致シテ、而シテ造船ノ獎勵ト航海ノ獎勵トヲ併行致シマシテ、國家ノ發達ヲ期スルト云フコトガ誠ニ必要ト思ヒマス要デアリマスカラ、共ニ本院ヲ通過シテ速ニ此事ノ實施ヲ要スルヤウニナリタイト云フコトヲ、誠ニ切望致ス次第デアリマス

○吉本榮吉君(八十一番) 質問ガアリマス、此航海獎勵法案ノ第一條ヲ見マスレバ、第二條、第三條ニ觸レザルモノニシテ自己ノ所有ニ專屬シ帝國船舶籍ニ登録シタル船舶ヲ以テ帝國ト外國トノ間、又ハ外國諸港ノ間ニ於テ貨物旅客ノ運搬ヲ營業スルモノニハ、此法律ノ規程ニ依テ獎勵金ヲ下付スルコト云フコトニナルヤウデアリマスガ、サウデアリマスカ、是ガ一ツ、ソレカラ第三條ノ製造後、五箇年間ヲ經過セザルモノハ航海獎勵金ヲ得ルコトヲ得ルノニ、第一ニ於テ五箇年ヲ經過スル外國製造ノ船舶ハイカナイト云フコトハドウ云フノデアルカ、此第三條ノ第一ノ……ソレカラ第十條ニ於キマシテ

○政府委員(佐藤秀顯君) 御答致シマス、詰り舊イ船デアリマスレバ既ニ多年用ヲ辨ジテシマツテ、買入レマスニモ代價ハ無論安クモアリ、又十五年ヲ過ギマスレバ大修繕ト云フモノヲ加ヘナケレバ殆ド使ハレナイト云フ位ノモデアリマスカラ、十二年乃至十五年間ハ船ノ一生ニ一番使ヒ宜ク、又仕事ヲスルニモ最モ適當シタモノデアリマス、ソレデ其間ニ保護サヘ加ヘマスレバ、航海ノ發達ヲ望ムノニ十分デアルト認メテ規定シタノデアリマス
○眞下珂十郎君(二百四十二番) サウシマスルト……
(此時モウ分ツタト呼フ者アリ)

○恒松隆慶君(五十番) 最早本案ハ委員ニ付託センコトヲ希望致シマス
(此時新井毫君質問ガアリマス「ト呼フ」)

○恒松隆慶君(五十番) 最モ本案ハ重ナル問題デゴザイマスデ、ドウカ十八名ノ委員ニ委託サレンコトヲ希望致シマス

○議長(楠本正隆君) 新井毫君……

○新井毫君(四十八番) 此航海、造船ノ兩法案ハ此日本ニ取ツテハ最モ必要ナ法案デアルト認メル、併シ年來此商會社ニ取ツテハ保護政策ノ結果カラシテ、又實際上……出來テ居ル、就イデ一ツ明瞭ニ當局者ニ尋ネテ置キタイノハ、航海獎勵法案ノ十七條ニ「商事會社ニ在テハ其各條ニ掲グル所爲ヲ爲シタル業務擔當ノ任アル社員若クハ取締役ニ之ヲ適用ス」ト云フコトガアル、又造船獎勵法案ニモ同一ノ……同様ノ明文ガ掲ゲテアリマスガ、若シ此法案ヲ通過シテ實行シタ時ニ其商事會社ニ於テ間違ノ生ジタ時ニハ業務擔當ノ任ニ在ル社員若クハ取締役トアルノハ何デアリマスカ、業務擔當ノ任務ニ在ル社員ト取締役全體ニ之ヲ適用スルノデアリマスカ、或ハ業務ニ關係ノナイ、或ハ取締其他ノ者ニハ構ハナイト云フ法案ノ精神デアリマスカ、承ツテ置キマス

(政府委員遞信省管船局長佐藤秀顯君演壇ニ登ル)

○政府委員(佐藤秀顯君) 御答致シマス、此業務擔當ノ任アル社員若クハ取締役ハ固ヨリ其所爲ヲナシタル者ニ限ルノハ「若クハ」以下ノ言葉ニモ懸ツテ居ルノデアリマス

○守屋此助君(百五十八番) 一寸御問ヲ致シマス、航海獎勵法案、造船獎勵法案ト相互ニ相俟ツテ效用ヲ爲スト云フコトハ、如何ニモサウデゴザイマセウ、然ル所ガ、造船ノ方ハ法律ノ行レル期限ガ二十箇年ニ限ツテアル、ソレカラコソチノ航海獎勵法案ノ方ハ、行ヒ始メル日ダケアツテ、何年間行フト限ツテナイ、造船ノ方ハ二十年間ト限ツテゴザイマス、此區別ヲ立テテ譯合ハドウ云フ譯デアルカ

(政府委員遞信省管船局長佐藤秀顯君演壇ニ登ル)

○政府委員(佐藤秀顯君) 造船獎勵法ノ年限ヲ限リマシタノハ、詰り船ヲ造リサヘスレバ、此獎勵法ノ規定ニ從ツテ船ヲ造リサヘスレバ、一時限リ下付スル獎勵金デアリマスカラ、造船獎勵金ハソレデ豫メ施行期限ヲ限リマシテモ、其間ニ造リマシタ船デアアルナラバ皆均ニ獎勵金ヲ受ケルコトガ出來ルノデアリマス、航海獎勵金ハ年齢ガ新シイ船デアアルナラバ十五箇年ノ間ニ涉ルノデアリマスカラ、若シ限ルニ年ヲ以テシマシタナラバ、初年カラ受ケルモノト中間カラ受ケルモノトハ大變ノ差ガ起ツテ來ルノデアリマス、是レ一ハ限ルニ年限ヲ以テシ、一ハ然カセザル譯デアリマス

○守屋此助君(百五十八番) サウスルト云フ今ノ政府ノ考デスナ

○政府委員(佐藤秀顯君) イヤ、ソレハ自ラ此獎勵法ヲ必要トシナイ時代モ

來ルコトハゴザイマセウガ、今日ハ年限ヲ限ル必要ヲ認メナイノデゴザイマス

○守屋此助君(百五十八番) モウ一ツ問ヲテ置キマス、斯ウ云フコトヲスルニハ斯ウ云フ獎勵金ヲヤルト云フコトガアツタナラバ、航海ヲスル人ハ將來受ケル一ノ約束ノ法律ヲ政府ガ拵ヘテ置クト、ソレヲ途中デ政府ガ今カライヤダト云フナラバ、何時デモ止メルコトガ出來ルト云フ見込デゴザイマスカ

○政府委員(佐藤秀顯君) サウデナイノデアリマス、一方ハ二十箇年ニ限ッテ置ケバ二十箇年ノ間ニ造ツタ船デアアルナラバ均シマス、保護ヲ受ケラレルコトドモ、一方ノ方ハ年限ヲ限ルト云フコトニナレバ其初年度ト五年目ト十年目トハ皆保護ノ區別ガ出來テ來マス、カラシテ此方ニハ年限ヲ限ルト云フコトガ出來

○守屋此助君(百五十八番) ソレ故ニ、國ノアラン限ハ保護スルカト問フノデアリマス

○政府委員(佐藤秀顯君) サウ云フ質問デアアルナラバ、詰り必要ノアル間ハドコマデモ此法律ヲ施行シナケレバナラスト御答ヲスルヨリ外ハナイ

○守屋此助君(百五十八番) 分リマシタ

○小室重弘君(八十八番) 今五十番デゴザリマシタカ、十八名ノ委員ト云フ說モアリマシタガ、十八名ノ委員ト云フ多クノ委員ハイリマスマイカラ、矢張九人デ宜カラウ

○議長(楠本正隆君) 即チ第二十選舉ノ件ニ移リマス

第二十 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○吉本榮吉君(八十二番) 矢張是ハ九名ノ委員デ、議長ノ指名ニシテ、ソレニ委託スレバ宜シイ

○議長(楠本正隆君) 然ラバ、右案ハ九名ノ議長ノ指名委員ニ付托スルコトニ異議ナシト認メマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 日程ヲ終リマシテ、明日ノ議事日程ヲ報道致シマス

議事日程 第八號 明治二十九年一月十五日(水曜日)

午後一時開議

第一 明治二十八年勅令第九十二號(政府提出)

第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第三 理事ノ恩給及遺族扶助ニ關スル法律案(政府提出)

第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第五 清國債金ノ一部ヲ以テ普通教育ノ基本ト爲スノ建議案

第六 鐵道敷設法中改正法律案(望月右内君提出)

○議長(楠本正隆君) 是ニテ散會ヲ報ジマス

午後二時二十七分散會

衆議院議事速記第六號正誤

頁 段 行 誤 正

一〇八 上 四 (佐藤書記官朗讀) ノ七字ヲ脱ス

明治二十五年三月三十一日遞信省認可(八)

印刷局印刷